平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会参画演習(Social Participation Seminar)			授業コード	A029201
担当教員名	吉村　充功、鈴木　照夫			科目ナンバリングコード	A20213
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	履修条件はありません。				
受講心得	本授業は、リテラシー能力(課題解決力)をプロセスに沿って演習を行うことで身につける授業です。欠席をすると十分な力がつきませんので、休まずに出席して下さい。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	福嶋隆史『論理的思考を鍛える超シンプルトレーニング』明治図書出版、2010年 大島弥生他『ピアで学ぶ大学生の日本語表現―プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房、2012年 西南学院法学基礎教育研究会「法学部ゼミガイドブック　ディベートで鍛える論理的思考力」法律文化社、2012年				
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、社会参画応用、社会参画実習2ほか				

授業の目的	本科目では、大学生としてふさわしいレポートを作成するために必要な、読む・書く力と考える力の習得を目指します。特に、文章を書く上で必要なプロセスである、与えられた資料を分析し、課題を発見・設定し、論理的な文章を構想でき、適切な日本語で自分の意見を主張できる、というリテラシー(課題解決力)の習得を目指します。こうしたリテラシーは、大学時代にレポートや定期試験等で必要となるだけでなく、就職活動や社会に出ても不可欠です。その意味で、本科目は、社会人としての力を支える能力を習得するための科目です。
授業の概要	4週を1ユニットとして、ユニット毎にテーマを設定して、課題に取り組みます。毎回演習形式で実施し、リテラシーの力を養い、最終的に論理的な小論文が書けるようにします。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： イントロダクション この授業の進め方を説明し、簡単な演習を行います。	
第 2 週 ： 第1ユニット(1) テーマ「コーチング」～様々な資料をもとに、課題に対して自分なりの解決策を提示できる。 資料分析1　コーチングに関する理論的・歴史的背景を知る。	情報収集を行って下さい。
第 3 週 ： 第1ユニット(2) 資料分析2　コーチングに関する課題を知る。	情報収集を行って下さい。
第 4 週 ： 第1ユニット(3) 構想　コーチングに関して、自分の意見を構想する。	情報収集を行って下さい。
第 5 週 ： 第1ユニット(4) 表現　コーチングに関して、構想をもとに、文章を作成する。	
第 6 週 ： 第2ユニット(1) テーマ「新卒一括採用」～様々な資料をもとに、反対側の主張を意識しながら自分の意見を構築できる。 資料分析1　新卒一括採用に関するグラフ等を読み取る。	情報収集を行って下さい。
第 7 週 ： 第2ユニット(2) 資料分析2　新卒一括採用に関する是非に関する資料を読み取る。	情報収集を行って下さい。
第 8 週 ： 第2ユニット(3) 構想　新卒一括採用に関する是非について、自分の意見をまとめる。	情報収集を行って下さい。
第 9 週 ： 第2ユニット(4)	

表現　新卒一括採用に関する是非について、まとめた意見をもとに、文章を作成する。	
第10週：第3ユニット（1） テーマ「商店街の現代的意義」～様々な資料をもとに、社会的な問題について自分なりの意見を主張する。 資料分析1　商店街衰退の背景を理解する。	情報収集を行って下さい。
第11週：第3ユニット（2） 資料分析2　活性化に成功している商店街の事例を知る。	情報収集を行って下さい。
第12週：第3ユニット（3） 構想　現代社会における商店街の意義について、自分の意見を構想する。	情報収集を行って下さい。
第13週：第3ユニット（4） 表現　現代社会における商店街の意義について、構想した意見をもとに、文章を作成する。	
第14週：まとめ（1） これまのでプロセスライティングの手順について復習し、リテラシー能力に基づいた文章作成能力の定着を図ります。	
第15週：まとめ（2） これまのでプロセスライティングの手順について復習し、リテラシー能力に基づいた文章作成能力の定着を図ります。	
第16週：期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	
【技能・表現・コミュニケーション】	日本語として正しい文章が書けるようになる。
【思考・判断・創造】	論理的・課題解決型の思考を身につけ、それらの能力を活用した文章を1,200字程度で書けるようになる。 ① 与えられた資料・設問のポイントを正しく読み取ることができる。 ② 与えられた課題から書く材料を見つけることができる。 ③ 自分の意見を論理的に主張することができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。				
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**20点**	**10点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**40点**	**30点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	ユニットで作成する各課題点を評価する。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	